

# やまなし 交通安全情報

財団法人 山梨県交通安全協会  
 財団法人 山梨県交通安全協会各支所  
 発行所  
 山梨県交通安全活動推進センター  
 TEL. 055-280-5550  
 〒400-0202 南アルプス市下高砂847  
 (ホームページ)  
<http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>

- |            |           |             |
|------------|-----------|-------------|
| 甲府交通安全協会   | 南甲府交通安全協会 | 南アルプス交通安全協会 |
| 韮崎交通安全協会   | 北社交通安全協会  | 鯉沢交通安全協会    |
| 南部交通安全協会   | 笛吹交通安全協会  | 日下部交通安全協会   |
| 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会  | 上野原交通安全協会   |

- |                   |                  |              |
|-------------------|------------------|--------------|
| 自動車安全運転センター山梨県事務所 | 社団法人・山梨県トラック協会   | 山梨県タクシー協会    |
| 社団法人・山梨県バス協会      | 社団法人・山梨県自動車整備振興会 | 山梨県軽自動車協会    |
| 中日本高速道路株式会社八王子支社  | 山梨県自転車軽自動車商協同組合  | 山梨県二輪車安全普及協会 |

CONTENTS

2	交通死亡事故 大幅に増加	4 5	各地区安協の活動
3	事故ゼロ願いや各地で啓発活動	6	安協から
	女性部登場【甲府安協】	7	中学生交通安全弁論大会
		8	協賛団体の交通安全情報

## 171号

### 年末の交通事故防止県民運動 12月1日(水)から31日(金)

# 飲酒運転 絶対「NO」!



国道139号で街頭指導を行い、交通安全を呼びかける大月交通安全協会のメンバーら  
 〓 都留市田野倉



平成22年度「年末の交通事故防止県民運動」(山梨県交通安全対策本部・山梨県交通対策推進協議会主催)が12月1日(水)から31日(金)までの1カ月間実施されます。年末は1年の中でも最も慌ただしく、忘年会などで飲酒の機会も増えるため、交通事故や違反の増加が懸念されます。

運動の重点目標は①飲酒運転の根絶と悪質・危険な運転の追放②高齢者と子どもの交通事故防止③二輪車の交通事故防止④全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底⑤自転車の安全利用の推進⑥早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進です。

私たち県民一人一人が交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を徹底させ、交通事故防止を推進してもらいたいと願っています。

### 交 差 点

▼本年10月末現在、県内の交通事故は、前年に比べ発生件数・負傷者数ともに減少しておりますが、死亡事故については増加傾向にあります。特に、飲酒運転が関係する人身交通事故が増加し、人口10万人当たりの飲酒事故の発生件数は、全国ワースト2位(9月末現在)となっております。▼車の運転にはアルコールは禁物です。酒を飲んで血中のアルコール濃度が高まると、「理性・自制心が低下する」「視力が低下し、視野が狭くなる」など心と体に悪い影響を及ぼします。運動機能が低下し、運転動作が遅れるなど反応が鈍くなり、行動も遅くなって重大な事故に繋がります。一方、飲酒運転の罰則も大幅に引き上げられました。飲酒運転をしないのはもちろん、絶対にドライバーに酒類を勧めてはなりません。処罰の対象になることもあります。▼山梨県交通安全協会では、飲酒運転の根絶を図るため、新たな県民運動として「ハンドルキーパー運動」を関係機関、団体や飲食店などと協力して実施しています。この運動は、自動車や飲食店等に来て飲酒する場合、仲間同士や飲食店の協力を得て、最初から酒を飲まない人を決め、酒を飲まない人が仲間を自宅まで送り届けるという、飲酒運転や悲惨な交通事故を防止する運動です。▼年末年始には飲酒の機会が増えます。重大事故に直結する飲酒運転根絶のため、県民一人ひとりが自覚して「飲んだら乗らない」を合い言葉に取り組むことが大切です。

# 交通死亡事故 大幅に増加

## 夜間は反射材を着装

### 早めのライト点灯を

本年10月末時点での交通事故は、発生件数5009件、死者41人、負傷者6561人で、前年と比較すると、発生

件数が271件減、負傷者が479人減となつていますが、死者数は11人も増えています。

年代別に見ても高齢者の死亡の割合が41.5%と最も高く、日没後間もない時間帯に、幹線道路を歩いて横断中

に車にはねられるケースが相次いでいます。夕暮れ時は、自動車の運転者からは、歩行者や自転車が見えにくくなります。これから年末に向けて日没が一段と早まり、同時時間帯が下校時間や退社時間と重なるため、この時期は交通事故が増加する傾向にあります。

このようなことから、「交通事故に遭わない」「交通事故を起こさない」ために、歩行者の方は、夕暮れ時や夜間に外出する際は、明るい服装を心掛けてください。夜道の交通事故を防ぐには、反射材を身に付け、ドライバーに自分の存在をアピールしましょう。

反射材は、たすき掛けや手首・足首に着装したり、靴など足下に貼付したりすると効果的です。一方、車の運転者は夕暮れ

時に、早めのライト点灯を心掛けてください。ライトを点灯することにより①歩行者の警戒心を呼び起こすことができ②他の車からもよく目立つ③歩行者や他の車を発見しやすくなる④安全運転への自覚が高まるなどの効果があります。12月は午後4時になったら車のライトを点灯させましょう。自動車ばかりでなく、自転車の無灯火も大変危険です。自転車に乗る場合も早めの点灯をしてください。年末は、何かと忙しい時期ですが、こんな時こそ周囲の状況をよく見て行動することが必要です。「通り慣れた道だから、近所だから大丈夫だろう」といった心の油断から、多くの事故が発生しています。歩行者や自転車の方は、「自分の命は自ら守る」という意識を持って行動し、自動車を運転する方は、歩行者や自転車に注意を払い「思いやり」と「譲り合い」の気持ちを持って安全運転を心掛けていただくようお願いいたします。

平成22年10月末現在の交通事故発生状況

	H21	H22	増減数	増減率
発生件数	5,280	5,009	-271	-5.1%
死者数	30	41	11	+36.7%
負傷者数	7,040	6,561	-479	-6.8%

類型別死亡事故発生状況

	発生件数 (前年比)	人数 (前年比)
歩行者事故	13 (+10)	15 (+12)
自転車事故	0 (-2)	0 (-2)
車・車事故	9 (-5)	9 (-5)
車両単独	16 (+5)	17 (+6)
計	38 (+8)	41 (+11)

	発生件数 (前年比)	人数 (前年比)
高齢者事故	17 (+8)	17 (+8)
飲酒事故	6 (+6)	7 (+7)

## 山梨県警察交通部から

県内における交通死亡事故は、10月末現在41人と昨年に比べ増加し、特に高齢者の死者が全体の4割を占め、飲酒運転が関係する死亡事故が激増するなど極めて厳しい状況にあります。

や取消処分といった行政処分を行っておりです。昨年6月の法改正により飲酒運転に対する行政処分が強化され、累積点数や事故が無くても、90日の停止

が2年以上の取消処分を受け、前年同期に比べ170人増という状況にあります。山梨県は、公共交通機関が十分に整備されているとは言えず、通勤や

会情勢にあります。飲酒運転で処分を受けた人は、皆一様に「少し休んだら酒は抜けていた」と思っていた「短い距離だから事故さえ起こさなければ」「今まで捕まらなかったから」と口にし、処分の大きさにほとんどの人は困惑されます。

## 飲酒運転は悪質・危険な犯罪です

### 飲酒事故率全国ワースト2位

山梨県警運転免許課長 小幡 菊次



飲酒運転が関係する交通事故は、件数・死者数・負傷者数とも前年に比べ増加し、人口10万人あたりの飲酒事故率全国ワースト2位(9月末現在)となるなど、県民の飲酒運転に対する規範意識の低さが露呈している状況にあります。



運転免許課においては、免許の取得や更新事務のほか、交通違反者等に対する免許停止

処分であった酒気帯び運転が取消2年に引き上げられ、酒酔い運転は2年から3年の取消処分となりました。本年10月末現在の飲酒運転に係る行政処分の状況ですが、303人

買物など車がなければ日常生活にも支障を来し、運転免許が必要不可欠の車社会といえます。また、免許がなければ就職もままならず、今の職さえ失いかねない社

質・危険な犯罪」との認識を持ち、飲酒事故率「記録なし」を目指し、安全で安心な車社会の実現に努めていただきますようお願い申し上げます。

## 南部安協が団体優勝

### 個人は四條利典さん(南)

#### 高齢者交通安全大会

第3回高齢者交通安全大会(県交通安全協会・地区交通安全協会共催、山梨県警察本部・山梨県自転車軽自動車商協同組合後援)が10月22日、山梨県総合交通センターで開かれました。高齢者による交通事故が後を絶たないことから、各地域の住民に対する交通安全後半では自転車体験コース

で決められたコースを走行し、各ポイントでのチェックによる競技を行いました。閉会式では、参加者全員に高齢者交通安全リーダー証を交付するとともに、自転車競技の成績上位の団体と個人を表彰しました。成績上位の団体・個人は次の通りです。

- ◇団体の部 ▽優勝 南部交通安全協会(四條利典、近藤大二夫、四條良樹)
- ▽準優勝 南アルプス交通安全協会(花輪清美、望月光長、植松栄)
- ▽3位 笛吹交通安全協会(小泉千太郎、駒井貞夫、小峰幸弘)
- ◇個人の部 ▽優勝 四條利典(南部交通安全協会)
- ▽準優勝 四條良樹(南部交通安全協会) ▽3位 花輪清美(南アルプス交通安全協会)
- 〓以上敬称略



県内12安協から36人が参加して開かれた第3回高齢者交通安全大会。県総合交通センター自転車体験コース





啓発品の袋詰め作業を行う  
女性部メンバー(南甲府)



銀座通りで行われた園児の演奏と演技(甲府)



高齢者に交通安全啓発品を配布(目下部)



美化運動を兼ねた交通安全活動(荏崎)



チャイルドシート着用モデル保育所で啓発品を配布(鵜沢)



一日署長を務めたレスリングの吉田沙保里さん(南アルプス)



ヴァンフォーレ甲府のキャラクターやコーチを招いて行われた交通安全サッカー教室(富士吉田)



カーブミラーの清掃活動(北杜)



秋の全国交通安全運動の出発式(上野原)



秋の全国交通安全運動へ出発(笛吹)



秋の全国交通安全運動出発式に参加する関係者(大月)



園児によるマーチング演奏(南甲府)

# 事故ゼロ願 各地で啓発活動

## 秋の全国交通安全運動

### 6 甲府交通安全協会

#### 交通事故ゼロを目指して



(文・服部勝子)

甲府交通安全協会女性部会の役員は、本会役員11名、各支部役員総勢93名で活動を行っています。

多くの人が交通事故の当事者となり、当事者を取り巻く家族や職場の方たちが精神的にも大きな苦痛を感じていることを考えますと、交通事故は一件でもなくさなければならぬと痛感致しております。

私も甲府交通安全協会は、女性部の活動として、各役員が幼稚園や保育園、老人クラブなどへ働き掛けをして「交通安全紙芝居」による交通安全教室を行い、交通事故の恐ろしさや命の大切さを伝えるとともに、交通マナーの向上を図っております。園児からは「お母さ

#### 交通安全紙芝居通じて 子どもたちに命の大切さ伝える

「交通安全は家庭から」を活動目標として、一家の主婦の立場で、子どもや孫へ交通安全を呼びかけるよう心掛けております。

飲酒運転の根絶、シートベルト・チャイルドシートの着用徹底、自転車の危険運転の防止など今後の活動課題は山積みです。

女性部としては、「事故を起こさないよう」事故に遭わないよう」と、市民の模範となり、事故のない安全・安心な社会づくりのために活動を進めて参りたいと思っております。

甲府交通安全協会女性部会  
もらっているみたい」と、とても好評です。高齢者や子どもに対しては、より細やかな心配りが交通事故防止につながると思っております。

貢川支部では、高齢者の方から宝くじのはずれ券で「事故に当たらないように」との願いを込めて作った鶴の紙細工を寄付していただき、女性部がこれらを交通安全のメッセージとともに可愛くラッピングし、街頭指導活動や老人クラブのミニ集会などで配布して交通安全を呼びかけております。

# 鯉沢



**通勤・通学路などで街頭指導所を開設**

鯉沢安協は、秋の全国交通安全運動として、身延線沿線の駅、通勤・通学路などで街頭指導所を開設しました。同運動初日には黄色い羽根と啓発品を配布。このほかの日も安協メンバーが「全席シートベルト着用」などのハンドプレートを持ち、積極的に活動しました。また、9月23日には、市川三郷町出身の俳優・一瀬秀和さんが一日署長を務め、富士川大橋交差点に開設した街頭指導所で交通安全を呼びかけられました。

鯉沢安協は、秋の全国交通安全運動として、身延線沿線の駅、通勤・通学路などで街頭指導所を開設しました。同運動初日には黄色い羽根と啓発品を配布。このほかの日も安協メンバーが「全席シートベルト着用」などのハンドプレートを持ち、積極的に活動しました。また、9月23日には、市川三郷町出身の俳優・一瀬秀和さんが一日署長を務め、富士川大橋交差点に開設した街頭指導所で交通安全を呼びかけられました。

# 南アルプス



## 吉田沙保里さんが一日署長

南アルプス安協は、秋の全国交通安全運動の一環として、レスリングの五輪金メダリスト吉田沙保里さんを南アルプス署の一日署長にお迎えしました。関係者約250人が参加。同署で委嘱式が開かれた後、吉田さんは県総合交通センターで県内の交通事故の発生状況や安協の活動について説明を受け、反射材着装の啓発をしました。その後は白バイの先導で主要道路をパレード。交通事故防止を呼びかけました。

# 南部



## 3世代でパレード 安全願い風船放つ

南部安協は、秋の全国交通安全運動に先だって推進会議を開催し、会長、副会長による「飲酒運転根絶宣言」を行いました。会議終了後は女性部員により、運動期間中に配布する啓発品の袋詰め作業もしました。9月29日には幼児と高齢者による交通安全パレードを実施。「三世代交通安全宣言」をした後、園児たちのマーチング演奏、交通安全への願いを綴った風船を放ち、全員で内船駅までパレードしました。



# 南甲府



**交通死亡事故ゼロ80日作戦を展開**

南甲府署管内では交通死亡事故が多発していることから、同署では10月13日～12月31日までの80日間、「交通死亡事故ゼロ・カトパン」作戦を展開しており、南甲府安協も全面的に協力しています。「カトパン」はフランス語で「80」という意味。期間中は街頭指導や「事故なし」を願ってナシを運転手に配布しています。秋の全国交通安全運動では卓球少女の平野美宇さんが一日署長を務めました。

南甲府署管内では交通死亡事故が多発していることから、同署では10月13日～12月31日までの80日間、「交通死亡事故ゼロ・カトパン」作戦を展開しており、南甲府安協も全面的に協力しています。「カトパン」はフランス語で「80」という意味。期間中は街頭指導や「事故なし」を願ってナシを運転手に配布しています。秋の全国交通安全運動では卓球少女の平野美宇さんが一日署長を務めました。

# 富士吉田



## キャラクターが活躍

富士吉田安協は、秋の全国交通安全運動の初日、ヴァンフォーレ甲府（Vフ甲府）のマスコット「ヴァンくん・フォーレちゃん」と、吉田のうどんのマスコット「よしだのうどんぶりちゃん」が交通安全を呼びかけました。Vフ甲府コーチによるサッカー教室も実施。運動期間中は河口湖大橋南詰交差点、なるさわ道の駅などでも街頭指導所を設け、チラシや反射たすきを配布しました。



# 北杜



## ゲートボールで交流 交通安全意識を高揚

北杜安協は、秋の全国交通安全運動の主要行事として「高齢者地域交通安全推進リーダーの委嘱及び交通安全ゲートボール大会」を開催しました。参加者205人に委嘱状と反射材付きの傘が交付され、ゲートボールで親睦を深めました。運動期間中は長坂駅、小淵沢駅、主要道路などで街頭指導を行い、安協女性部が作製した交通安全マスコットや啓発品を配布して交通安全を呼びかけました。



地区安協の活動

地区安協の活動

### 上野原



#### 菅原文太さんが一日署長

上野原署管内では、秋の全国交通安全運動として俳優の菅原文太さんを一日警察署長に任命し、交通安全運動出発式を行いました。また、上野原市社会福祉協議会の協力により代表者9人をシルバーリーダーに委嘱。上野原郵便局、ヤマト運輸の代表2人をひと声推進リーダーに任命しました。街頭指導では反射材や安協女性部が作ったビーズストラップ、地域で活躍中の女性たちが作製した、しじみストラップを配布しました。



### 日下部



#### 黄色い羽根などを配布

日下部安協は、秋の全国交通安全運動の初日、山梨市と甲州市内の計5カ所に街頭指導所を設け、黄色い羽根や反射リフレクターなどの啓発品を配布しました。山梨市駅前では一日署長を務めた女優の筒井真理子さんが、市民らに交通安全を呼びかけました。9月25日には、甲州市民文化会館で高齢者交通安全講話などを実施。安協女性部が反射材の活用や道路横断中の交通事故防止を訴え、手作りの楊枝入れ、割りばし入れを配りました。



### 甲府



#### 交通事故防止へ多彩な活動

甲府安協は、秋の全国交通安全運動期間中、出発式を皮切りに①飲酒運転根絶推進大会(ハンドルキーパー運動)②自転車指導③安全運転コンクール④交通少年団による街頭指導活動⑤安協女性部による交通安全紙芝居⑥街頭指導所の開設の学生ボランティアとのカーブミラー清掃など、各地でさまざまな活動を繰り広げました。9月26日には自治会の要望に応え、羽黒・山宮両地区内に「子ども飛び出し注意」の看板1枚を設置しました。



### 笛吹



#### 石和温泉郷入り口でブドウなどを配布

笛吹安協は、秋の全国交通安全運動中の9月22日、交通事故防止を図るため街頭指導所を笛吹市石和町川中島の笛吹橋西詰(石和温泉郷入り口)に開設しました。安協メンバー65人と支所交通指導員4人が参加。チラシと交通事故防止のマスコットやブドウを配布しました。



### 韮崎



#### 道の駅などで街頭活動

韮崎安協は、秋の全国交通安全運動の初日に甲斐市内3カ所(竜王地区、敷島地区、双葉地区)や韮崎市の「道の駅にらさき」で街頭指導を実施し、「交通ルールを守ろう」「シートベルト」などと書かれたハンドプレート掲げながら啓発品を配布しました。今年に入って自転車事故も県内で多発していることから、同運動の最終日には竜王駅と塩崎駅で自転車街頭指導を行い、高校生らに注意を呼びかけました。



### 大月



#### 駅前、高齢者宅で啓発活動

大月安協は、秋の全国交通安全運動の一環として、大月駅前啓発活動を行いました。安協メンバーや、大月警察署員、大月短大付属高校の生徒など合わせて約50人が参加。駅前立って通勤者らに黄色い羽根、啓発グッズを配布し交通安全を呼びかけました。また、大月市大月、都留市東桂地区の高齢者宅を訪問し、リフレットや反射材を配布しながらワンポイントアドバイスをしました。



### 安協から

山梨県交通安全協会は、17支部約620名の役員・部員を中心に早川町、身延町、南部町並びに南部警察署の

しい状況にあります。そうした中、本年9月末現在の当協会管内の人身交通事事故発生状況は、発生件数69件(昨年比22件減)、死者数4人(昨年比2人増)、負傷者数89人(昨年比40人

した高齢者交通安全教室をはじめとして、街頭指導では地域名産の南部茶、女性部手作りの啓発品を配布しての啓発活動、地域における祭典警備、交通危険箇所

当協会主催で老人クラブや保育園児参加の交通安全パレードを開催して、高齢者と子どもの交通事故防止を呼びかけ、会員や住民に対する交通安全意識の高揚を図りました。

## 安全安心を実感できる 交通社会の実現



南部交通安全協会会長 山本 接三

当協会管内

は、国道52号、国道300号など主要国道のほか県道主要幹線道路が存在し、通過交通だけでなく、県内外から身延山や管内各地の温泉などを訪れる行楽客も多

減)と発生件数、負傷者数は減少しておりますが、死者数は昨年の倍となり、憂慮すべき状況にあります。当協会としては、高齢者の交通事故防止対策の一環として関係機関と連携

また、本年上半期の山梨県の飲酒事故の結果を踏まえ、秋の全国交通安全運動推進会議の席上において当協会として「飲酒運転根絶宣言」を行い、さらには、

と協力して、高齢者事故対策、飲酒運転事故対策を中心に協会員一丸となって各種活動を推進してまいります。ご協力をお願いいたします。

当協会は、今後も管内から悲惨な交通事故をなくし、地域住民が安全安心を実感できる交通社会を実現するため、関係機関・団体

## 安協会員入会のお願い

山梨県交通安全協会は、免許証の取得・更新時に会費を任意でお願いしております。協力をいただいた方の会費は、皆様の住居地の交通安全協会が悲惨な交通事故を一件でも減らすために、街頭交通安全指導、自転車教室、高齢者安全講習等の各種活動を行っておりますが、こうした活動の経費として活用させていただいております。

### 交通安全協会会員の皆様への支援

#### 弁護士無料法律相談

会員が交通事故を発生させたか又は交通事故の被害者となった場合、損害賠償等で疑問があったときは当協会の委託弁護士による無料の法律相談が受けられます。

詳しくは、山梨県交通安全協会(☎055・280・5550)にお問い合わせください。

#### 交通事故見舞金制度

会員が不幸にして交通事故で死亡した場合や後遺症が生じた場合は、20万円を限度とした見舞金を交付しております。

#### 免許証ケース及び

#### セーフティー・ドライブマップの進呈

免許証の亡失、損傷を防止するため滑り止めのついた免許証ケースを進呈します。

#### Eメール会員へのサービス

運転免許の更新時期のお知らせや安全運転に役立つ情報を提供します。

### 山梨県交通対策推進協議会から

## 飲酒運転根絶運動を強化

### 周囲の人たちの役割

- ➡運転する人にはお酒を勧めない。
- ➡お酒を飲んだ人には運転させない。
- ➡お酒を飲んだ人には車を提供しない。
- ➡アルコール依存症の人には治療を勧める。

山梨県、山梨県警察本部、山梨県交通対策推進協議会では、12月1日から12月31日までの1カ月間、「年末の交通安全防止県民運動」を、また、12月1日から来年1月31日までの2カ月間、「飲酒運転しない・させない山梨キャンペーン」を実施します。

- (1) 飲酒運転の根絶と悪質・危険な運転の追放
- (2) 高齢者と子どもの交通事故防止
- (3) 二輪車の交通事故防止
- (4) 全ての座席のシートベルト

「年末の交通安全防止県民運動」では、「運転は人に社会に思いやり」のスローガンのもと、次の6つの重点を定め、交通安全意識の高揚を図ります。

(1) 飲酒運転の根絶と悪質・危険な運転の追放

「飲酒運転で事故を起こしたドライバーは、「飲酒後、時間が経過したから大丈夫」「気がついて運転すれば大丈夫」など、飲酒運転を断じて許さない社会を築きましょう。

- (5) 自転車の安全利用の推進
  - (6) 早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進
- また、「飲酒運転しない・させない山梨キャンペーン」では、県内の酒類提供店の協力を得て、「飲酒運転させない宣言の店」(卓上カレンダー)を掲出し、店関係者と来店者の飲酒運転根絶の意識高揚を図り、飲酒運転をしない・させない環境づくりを強化します。
- 「飲酒運転の根絶」に向け、県民一人ひとりが強い決意を持ち、飲酒運転を断じて許さない社会を築きましょう。

**高い無事故率**

早く優しい地元のための教習  
山梨県公安委員会指定

**岳麓自動車教習所**

富士吉田市新西原5-5-1  
☎0555-22-1689  
普一、大型一・二、大特  
けん引、自二  
(合宿施設有)



一輪車の安全運転について学ぶ参加者

### 地域・職域二輪車安全教室

#### 高齢者らが運転技術学ぶ

山梨県交通安全協会と地区交通安全協会は、本年度の事業として、二輪車、高齢者らの交通事故防止を図るため「地域・職域二輪車安全教室」を開催しました。

参加者からは「乗用車に関する講習はよくあるが、二輪車だけの教室は少ないので参加した。非常に勉強になったので、安全運転に役立てたい」という声がかかれ、好評を得ました。

3回にわたって実施しました。同教室には計約70人が参加して、二輪車指導員が約2時間、バイクの乗車方法を教示しました。

### 山梨県中学生交通安全弁論大会優勝作品



## 山梨県中学生交通安全弁論大会

# 輿水沙織さん(双葉中3年)が優勝



第52回山梨県中学生交通安全弁論大会(山梨県警察本部・山梨県交通安全協会共催)が10月27日、若草生涯学習センターで開催されました。大会には県内12警察署管内の地区大会で優秀な成績を収めた12人と昨年優勝者の所属校と大会協力校各一人の計14人が出場、持ち時間5分で「論旨のわかりやすさ」「表現の適切さ」「発表の態度」を基準に審査した結果、「思いやりと気配り」の演題で発表した双葉中学校3年輿水沙織さんが優勝しました。

出場者は、自らの体験などを通じて感じたことを中学生の目線から訴え審査員をはじめ観衆に感動を与えました。

熱弁をふるう中学生(写真上)と優勝した双葉中3年の輿水沙織さん(同下)＝いずれも若草生涯学習センター

弁論の内容につきましては「中学生交通安全弁論要旨集」を発行し、県下の中学校をはじめ、関係機関団体に交通安全教育資料として配布しております。

結果は次の通りです。

◇優勝 △山梨県知事賞  
輿水沙織(双葉中3年)

◇準優勝 △山梨県議会議長賞 田村萌夏(甲府中3年)

▽山梨県教育長賞 田中有紀(笹南中2年) △山梨県警察

本部長・山梨県交通安全協会 長賞 平井杏奈(大月東中3年)

◇優秀賞 森本夏美(白根御使中2年) 岡佑樹(塩山中3年) 小俣澄夏(島田中3年) 流石麻莉奈(勝山中2年) 佐野伸(南都中3年) 篠原草月(石和中2年) 柴田実歩(若草中1年) 保坂都(増穂中3年) 中平樹希(甲府北中3年) 下條直緒人(高根中2年)

＝以上敬称略



輿水 沙織 (双葉中3年)

## 思いやりと気配り

「あっ危ない」と私は思わずつぶやいてしまいました。白い杖をついたおばあさんが、一人で横断歩道を渡ろうとしているのです。その横断歩道には、音の出る信号機はついていませんでした。目の不自由なおばあさんにはもちろん、信号が赤なのか青なのかかわかりません。車の通る音で安全を確認し、渡り始めたのでしょうか。幸い、信号はちょうど青でした。おばあさんはゆっくり、ゆっくりと渡っていきました。その時です。一台の乗用車が右折しようとして交差点にさしかかったのです。しかし、乗用車はすぐに右折せずにおばあさんが安全に渡りきれるまで停止して、その後ゆっくりと右折していきました。

おばあさんの歩いているスピードと位置なら、車は確実に接触しないので曲がるのができたでしょう。しかし、待っていてくれたというよりは、運転手におばあさんを安心して渡らせてあげたいという思いが、私に伝わったのだ。

今、私達の身のまわりには電車やバス・車・自転車などいろいろな乗り物があふれています。そしてその乗り物は快適であるからではないでしょうか。

面、一歩間違えれば死の危険と隣合わせになっているという欠点もあるのが事実です。つまり、運転手は快適な乗り物があるときに、尊厳と輝く未来をつぶす凶器だということを自覚しなければならぬのです。それと同時に、私達中学生が多く利用する

例えば私は先日、こんな経験をしました。夜遅くに、塾の帰りに迎えに来てくれた父の車に乗っていました。すると一台の自転車がライトをつけずに横断歩道を渡っているのです。一瞬見ただけでは「これくらいなら大丈夫」という自分を厳しく、律していかなければならないのです。

私達中学生の多くは徒歩通学あるいは、自転車通学です。徒歩通学者はきちんと歩道を歩き、周囲に気を配ることが大切です。また、自転車通学者は自分は事故の被害者・加害者のどちらにもなりうることを自覚し、自ら交通事故を防ぐために頭を守るヘルメットの着用や夜間時にはライトの点灯を行うべきです。

そして何より、交通事故防止への第一歩は交通ルールを守ること、最低条件であることを自覚し、一人ひとりが相手を思いやる・気を配ることで安全・安心・幸せな毎日が送れると私は思います。

**DS Drive Safety**

山梨中央広告社グループ  
HAMAMASHI ADVERTISING TRANSPORT CO.  
株式会社 山梨広告運送  
中央市西新居330-7  
TEL.055-274-3822 FAX.055-274-3842  
http://www.yamanashi-orkomi.com

**「ハンドルキーパー運動」推進中**

33 山梨県民の願い!  
**飲酒運転撲滅**  
ハンドルキーパー運動の推進に協力しています

**ハンドルキーパー運動**  
ハンドルキーパーとは、自動車やバイクなどに行く場合に、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。

山梨県交通安全協会では、山梨県飲食業協同組合をはじめとする関係者のご協力を得ながら飲酒運転の根絶を目指して、「ハンドルキーパー運動」を推進しています。

今日のハンドルキーパーは私です!!

(財)山梨県交通安全協会



## 自動車整備振興会

### ◇整備技術の研鑽！第18回自動車整備技能競技会を開催

自動車整備技術の更なる向上、整備事業の公共性と業界の教育訓練、技能錬磨の姿勢を広く社会に示すことにより、業界に対する正しい理解と認識を高め、業界の健全な発展と自動車の安全確保及び環境保全に寄与することを目的として、10月23日(土)、第18回山梨県自動車整備技能競技大会をアイメッセ山梨で開催致しました。

この大会は、1チーム2名により全支部(18支部)が出場し、12ヶ月法定定期点検整備の確実な実施、エンジンや電気系統等の故障探求等を実技で競いました。

白熱した競技が展開され、その結果、次のチームが入賞し、優勝チームは、本県代表として平成23年に開催される全国大会に臨むこととなります。

- 《優勝》甲府南支部  
鶴田 勝典選手  
(トータルカーセンター・キョウイ)
- 今村 健 選手  
(トータルカーセンター・キョウイ)
- 《準優勝》南アルプス南支部  
沢登 雄二選手(豊自動車工業所)
- 白倉 紀晃選手(山梨機械整備工業所)
- 《第3位》東八支部  
塚田 徳和選手(ガレージ・シーノ)
- 土田 拓 選手(トラブルサービスシフト)



### ◇車ふれあい祭り2010を同時開催！

自動車の安全確保及び環境保全に対する社会的要請が高まる中、自動車の不具合による事故や公害を防止するため、自動車ユーザーに点検整備が義務付けられています。しかし、その実施状況は必ずしも十分といえない状況が続いております。一方で、交通事故や自動車による大気汚染等も引き続き解決が必要な状況です。

そこで、自動車ユーザーに日頃の点検整備の大切さを感じ取って頂くため、上記の技能競技大会に合わせて「車ふれあい祭り2010」を開催しました。



当日は、約3千名のご来場を頂き、「マイカー点検教室」「自動車なんでも相談所」をはじめ、「シートベルト衝撃体験」「運転適性診断」「お楽しみ大抽選会」等の数多くのイベントを展開しました。

また、ステージでは、お笑いタレント「桜塚やっくん」によるお笑いライブ、キャラクターショーが行われ、子供達から大きな歓声も上がり、来場者で賑わいました。

## 中日本高速道路株式会社

### 高速道路 無料化社会実験 ~ご案内~

期間 | 平成22年6月28日から平成23年3月31日まで実施します。

無料となるご利用も、有料となるご利用も、通行方法は従来と同じです。  
ETC車はETCカードを車載器に挿入のうえ、ETCレーンをご通行いただき、現金車等(ETC車以外)は、一般レーンで一旦停止してください。

	入口	出口
現金利用者	ETCと表示のあるレーンを通行し、通行券を受け取り	ETCと表示のあるレーンを通行し、ブースで一旦停止して、係員に通行券を渡す
ETC利用者	ETCカードを車載器に挿入 ※ETCカードを挿入しても、無料化社会実験期間の料金は課金されません	ETC専用レーンまたはETC混在レーンを徐行して通行

注) 社会実験として、効果把握や実験所要量の積算のため、正確な交通データの収集が必要であり、従来どおりの方法での通行をお願いするものです

※東富士五湖道路(富士吉田及び須佐料金所)に通行券はありません。料金精算機前で一旦停止いただき、開閉バーが開くのを確認のうえご通行下さい(開閉バーは一台ずつ開きます)

対象路線 | NEXCO中日本の無料化社会実験区間



※は本料金所です。



## 山梨自動車学校

山梨県唯一！  
全車種教習ができます。

山梨自動車学校は山梨県公安委員会指定の教習所です  
免許取得後の生徒の皆様の安全運転のためにも  
安全・わかりやすさ・楽しさを追求し  
常に新しい取組にチャレンジしていきます

山梨県公安委員会指定

山梨自動車学校

山梨県南アルプス市下高砂847  
TEL.055-285-0752 FAX.055-285-0701  
URL: http://www.y-ds.jp/ i-mode: http://www.y-ds.jp/i/



年中無休 ☎0120-915752

## (社)山梨県トラック協会



## SDカードをお持ちですか?

SDカードには引き続いて模範的な安全運転をされますようにとの願いが込められています。

スーパーゴールド	ゴールド	シルバー	ブロンズ	グリーン
20年以上	10年以上20年未満	4年以上10年未満	2年以上4年未満	1年以上2年未満

安全運転をつくろう。  
自動車安全運転センター  
山梨県事務所

南アルプス市下高砂825  
TEL 055-285-2345  
FAX 055-285-2951

http://www.jsdc.or.jp/

SDカードは安全運転の証しだよ！  
スーパーでのポイントサービスやレジャー施設での割引など多くの特典があるよ！

